

# 平成 2 1 年度病虫害発生予報第 7 号

平成 2 1 年 1 0 月 1 日  
愛 知 県

## 1 普通作物

水稲では、一部の地域でトビイロウンカによる坪枯れ症状を確認しています。収穫期を迎えているほ場では、刈り遅れのないようにしましょう。

ダイズでは、ミナミアオカメムシやアオクサカメムシなどの吸実性カメムシ類の発生量が、平年を大きく上回り、過去10年で最も多くなっています。今後、さらに増加することが予想されますので、ほ場で発生が目立つ場合は、適切に防除しましょう。

## 2 果樹

果樹カメムシ類は、予察灯における誘殺数が9月下旬に入り急激に増加しています。果樹園へいつ飛来してもおかしくない状況ですので、ほ場をよく見回り、飛来を確認したら、収穫前日数に注意して直ちに防除しましょう。詳しくは、本日発表の「果樹カメムシ情報第4号」を参照してください。

ナシうどんこ病とブドウべと病の発生量が多くなっています。また、カキうどんこ病は発生量の多いほ場が一部見られます。秋季防除を徹底するとともに、落ち葉は適切に処分して、翌年の伝染源を減らしましょう。

## 3 野菜

イチゴでは、うどんこ病の発生量が平年に比べ多くなっています。今後、発生量の増加が心配されますので、初期防除に努めましょう。また、ハダニ類の発生量も、平年に比べやや多くなっています。発生を確認したら天敵を導入する前に、防除を徹底しましょう。

キャベツでは、オオタバコガの結球部への食入を確認しています。今後も気温が高く推移すると、ほ場での発生量が急激に増加するおそれがあります。結球部への食入後は防除が困難なため、ほ場を見回り、早期発見、早期防除に努めましょう。また、アブラナ科野菜では、強風を伴う降雨の後に、黒腐病など細菌性の病害が拡がりやすいので、早めに防除しましょう。

## 4 花き

キクでのオオタバコガのフェロモントラップにおける誘殺数が多くなっています。今後も気温が高く推移すると、ほ場での発生量が急激に増加するおそれがあります。特に、着蕾時期以降に食害を受けると被害が大きくなるので、早めの防除を心がけましょう。

## 作物

### ・ 予報内容

作物名	病害虫名	発生量(発生時期)	主な発生地域	予報の根拠	予報への影響
ダイズ	カメムシ類	多い	西三河・東三河地域	9月下旬の発生量が多い 10月の気温は高い	++

### ・ 防除対策

#### 〔ダイズ・カメムシ類〕

9月29日発表の「吸実性カメムシ情報第1号」を参照してください。

## 果樹

### ・ 予報内容

作物名	病害虫名	発生量(発生時期)	主な発生地域	予報の根拠	予報への影響
ナシ	黒星病	平年並	全域	9月下旬の発生量は平年並	±
ウンシュウミカン カキ	カメムシ類	やや多い	全域	予察灯における誘殺数が多い 9月上旬のヒノキ球果寄生虫数は多い	++

### ・ 防除対策

#### 〔ウンシュウミカン、カキ・カメムシ類〕

本日発表の「果樹カメムシ情報第4号」を参照してください。

## 野菜

### ・ 予報内容

作物名	病害虫名	発生量(発生時期)	主な発生地域	予報の根拠	予報への影響
トマト(施設)	葉かび病	平年並	全域	9月下旬の発生量は平年並	±
	コナジラミ類	やや多い	全域	黄色粘着トラップにおける誘殺数はやや多い	+
トマト(施設) ナス(施設)	ハモグリバエ類	平年並	全域	9月下旬のトマト(施設)での発生量は平年並	±
ナス(施設)	ミナミキイロアザミウマ	多い	全域	9月下旬のハウレンソウでの発生量が多い	+
				10月の気温は高い	+

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
ハクサイ キャベツ	コナガ	平年並	全域	9月下旬の発生量は平年並 9月のフェロモントラップにおける誘殺数はやや少ない 10月の気温は高い	± - +
ハクサイ	べと病	平年並	全域	9月下旬の発生量は平年並	±
	アブラムシ類	やや多い	全域	9月下旬の発生量はやや多い 10月の気温は高い	+ +
キャベツ	黒腐病	平年並	全域	9月下旬の発生量は平年並	±
ハウレンソウ	モザイク病	平年並	全域	9月下旬のアブラムシ類の発生量は平年並	±
	アブラムシ類	やや多い	全域	9月下旬の発生量は平年並 10月の気温は高い	± +
	シロオビノメイガ	平年並	全域	9月下旬の発生量は平年並	±
	ミナミキイロアザミウマ	多い	全域	9月下旬の発生量は多い 10月の気温は高い	+ +
イチゴ (施設)	うどんこ病	多い	全域	9月下旬の発生量は多い	+
	炭疽病	平年並	全域	9月下旬の発生量は平年並	±
	ハダニ類	やや多い	全域	9月下旬の発生量はやや多い	+
野菜共通	ハスモンヨトウ	平年並	全域	9月下旬のキャベツにおける発生量は少ない 9月のフェロモントラップにおける誘殺数は平年並 10月の気温は高い	- ± +
	オオタバコガ	やや多い	全域	9月下旬のキャベツにおける発生量は平年並 9月のフェロモントラップにおける誘殺数は平年並 10月の気温は高い	± ± +

・防除対策

〔トマト(施設)・コナジラミ類〕

9月1日発表の「トマト黄化葉巻病情報第1号」を参照してください。

〔ナス(施設)・ミナミキイロアザミウマ〕

プレオフロアブル、コテツフロアブルなどで防除しましょう。

〔ハクサイ・アブラムシ類〕

アドマイヤーフロアブル、ウララDFなどで防除しましょう。

〔ハウレンソウ・アブラムシ類〕

アクタラ顆粒水溶剤、アドマイヤーフロアブルなどで防除しましょう。

〔ハウレンソウ・ミナミキイロアザミウマ〕

パダンSG水溶剤などで防除しましょう。

〔イチゴ(施設)うどんこ病〕

発病初期からトリフミン水和剤、ベルコート水和剤、ポリオキシソルボンA水溶剤などで防除しましょう。

〔イチゴ(施設)・ハダニ類〕

ニッソラン水和剤、マイトコーネフロアブル、ダニサラバフロアブルなどで防除しましょう。

〔野菜共通・オオタバコガ〕

キャベツについては、9月1日発表の「オオタバコガ情報第1号」を参照してください。

## 花き

・予報内容

作物名	病害虫名	発生量 (発生時期)	主な 発生地域	予報の根拠	予報への影響
キク (露地)	アザミウマ類	平年並	全域	9月下旬の発生量は平年並	±
	ハスモンヨトウ	平年並	全域	9月のフェロモントラップにおける誘殺数は平年並	±
	オオタバコガ	やや多い	全域	9月のフェロモントラップにおける誘殺数はやや多い	+

・防除対策

〔キク・オオタバコガ〕

9月1日発表の「オオタバコガ情報第1号」を参照してください。

参考

東海地方 1か月予報(名古屋地方気象台9月25日発表)

予想される向こう1か月の天候

東海地方では、天気は数日の周期で変わります。

向こう1か月の気温は、高い確率50%です。

週別の気温は、1週目は高い確率70%、2週目は高い確率50%です。

向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率

〔気温〕 低い : 20% 平年並 : 30% 高い : 50%

〔降水量〕 少ない : 30% 平年並 : 40% 多い : 30%

〔日照時間〕 少ない : 30% 平年並 : 40% 多い : 30%

予想される天候の特徴

当地方の向こう1か月は、天気は数日の周期で変わります。気圧の谷や湿った空気の影響を受ける時期がある見込みです(9月26日~10月23日の晴れ日数の平年値は約15日)。

「農薬使用者のみなさんへ」

飛散防止にこれまで以上に留意し、農薬の適正使用に努めましょう。

農薬使用前にはラベルの内容を確認しましょう。

農薬散布後は、防除器具のタンクやホースも洗いもれがないようにしましょう。

農薬は、安全な場所に鍵をかけて保管しましょう。

農薬の使用状況を帳簿に記載しましょう。

農薬の空容器は、ほ場などに放置せずに適切に処理しましょう。